



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マンダム

コード番号 4917 URL <http://www.mandom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西村 元延

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務管理部長 (氏名) 越川 和則 TEL 06-6767-5001

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	21,094	7.4	3,836	16.0	4,062	14.4	2,487	18.3
27年3月期第1四半期	19,648	9.2	3,306	△2.2	3,550	△0.0	2,103	0.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,513百万円 (△9.9%) 27年3月期第1四半期 2,788百万円 (△28.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	106.40	—
27年3月期第1四半期	89.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	77,152	62,295	74.6
27年3月期	75,980	60,980	73.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 57,559百万円 27年3月期 55,974百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	37.00	—	39.00	76.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,840	8.8	5,250	0.2	5,250	△5.9	5,800	71.3	248.09
通期	76,360	7.7	7,360	5.2	7,600	0.1	7,120	60.9	304.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	24,134,606株	27年3月期	24,134,606株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	755,963株	27年3月期	755,827株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	23,378,701株	27年3月期1Q	23,379,172株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
4. (参考) 個別財務諸表等	11
(1) (参考) 四半期貸借対照表	11
(2) (参考) 四半期損益計算書	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続くなか、政府の経済・金融政策を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済は、一部の地域で減速感がみられたものの、緩やかな拡大傾向で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループは持続的な成長の実現に向け、「コア事業である男性グルーミング事業の持続的な成長」「女性コスメティック事業の展開スピードのアップ」「成長エンジンである海外事業の継続強化」に取り組みました。

当第1四半期の連結売上高は、210億94百万円（前年同期比7.4%増）となりました。主として、国内外ともに女性分野が概ね好調に推移したことに加え、円安により海外子会社売上高の円換算額が増加したことによるものであります。

営業利益は、38億36百万円（同16.0%増）となりました。主として、海外におけるマーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の積極的な投下があったものの、増収効果や日本におけるマーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の効率化によるものであります。その結果、経常利益は40億62百万円（同14.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億87百万円（同18.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（売上高は外部顧客への売上高を記載しております。）

日本における売上高は125億67百万円（同2.4%増）となりました。これは主として、コア・ブランド「ギャツビー」夏シーズン品の苦戦を、女性分野の好調な推移がカバーしたことによるものであります。利益面においては、マーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の効率化により、営業利益は25億24百万円（同13.2%増）となりました。

インドネシアにおける売上高は51億97百万円（同25.1%増）となりました。これは主として、インドネシア国内においてコア・ブランドである「ギャツビー」を中心に概ね好調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加があったことによるものであります。利益面においては、マーケティング費用（広告宣伝費）の積極的な投下があったものの、増収効果により営業利益は5億75百万円（同58.6%増）となりました。

海外その他における売上高は33億29百万円（同3.4%増）となりました。これは主として、現地通貨ベースで概ね堅調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加があったことによるものであります。利益面においても増収効果により堅調に推移したことから、営業利益は7億37百万円（同3.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金のほか、投資有価証券が増加したこと等により771億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億72百万円増加しました。負債合計は、短期借入金が増加したこと等により148億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少しました。また、純資産合計は、利益剰余金が増加したこと等により622億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億15百万円増加し、自己資本比率は74.6%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億83百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には99億81百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

#### ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動によるキャッシュ・フローは13億83百万円の資金収入となり、前年同期に比べ85百万円資金収入が増加しました。これは、営業利益が増加したことや、たな卸資産が減少したこと等によるものであります。

#### ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは3億73百万円の資金支出となり、前年同期に比べ8億86百万円資金支出が減少しました。これは、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

#### ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは21億74百万円の資金支出となり、前年同期に比べ10億88百万円資金支出が増加しました。これは、短期借入金の返済による支出があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社および国内連結子会社は当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。 )、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,597	7,346
受取手形及び売掛金	9,662	10,479
有価証券	17,796	18,397
商品及び製品	6,991	6,524
仕掛品	491	602
原材料及び貯蔵品	2,516	2,787
その他	2,029	2,140
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	48,067	48,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,879	7,777
その他（純額）	10,768	10,920
有形固定資産合計	18,647	18,697
無形固定資産	965	1,098
投資その他の資産		
投資有価証券	6,598	7,345
その他	1,712	1,763
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	8,299	9,097
固定資産合計	27,913	28,893
資産合計	75,980	77,152

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,605	2,001
短期借入金	1,817	736
未払法人税等	1,008	1,174
賞与引当金	837	575
その他の引当金	336	307
その他	6,189	6,655
流動負債合計	11,794	11,451
固定負債		
退職給付に係る負債	1,590	1,562
その他	1,615	1,843
固定負債合計	3,206	3,405
負債合計	15,000	14,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	36,102	37,677
自己株式	△1,855	△1,855
株主資本合計	56,876	58,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,577	2,013
為替換算調整勘定	△2,440	△2,867
退職給付に係る調整累計額	△40	△37
その他の包括利益累計額合計	△902	△891
非支配株主持分	5,005	4,735
純資産合計	60,980	62,295
負債純資産合計	75,980	77,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	19,648	21,094
売上原価	8,857	9,485
売上総利益	10,791	11,609
販売費及び一般管理費	7,484	7,772
営業利益	3,306	3,836
営業外収益		
受取利息	34	41
受取配当金	38	39
持分法による投資利益	69	130
その他	122	31
営業外収益合計	265	243
営業外費用		
売上割引	9	9
為替差損	8	—
その他	4	7
営業外費用合計	21	16
経常利益	3,550	4,062
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	28
特別利益合計	0	28
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	29
移転費用	—	53
特別損失合計	2	82
税金等調整前四半期純利益	3,548	4,008
法人税等	1,247	1,260
四半期純利益	2,300	2,748
非支配株主に帰属する四半期純利益	196	260
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,103	2,487

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	2,300	2,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	428
為替換算調整勘定	472	△675
退職給付に係る調整額	△18	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△0
その他の包括利益合計	488	△235
四半期包括利益	2,788	2,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,378	2,498
非支配株主に係る四半期包括利益	409	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,548	4,008
減価償却費	614	628
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△231	△257
受取利息及び受取配当金	△73	△81
為替差損益 (△は益)	38	△12
持分法による投資損益 (△は益)	△69	△130
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△28
売上債権の増減額 (△は増加)	△981	△1,018
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△717	△138
仕入債務の増減額 (△は減少)	653	439
未払金の増減額 (△は減少)	△766	△863
その他	445	△203
小計	2,459	2,343
利息及び配当金の受取額	72	66
法人税等の支払額	△1,233	△1,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,298	1,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△511	△330
定期預金の払戻による収入	102	283
有価証券の取得による支出	△8,599	△5,897
有価証券の売却及び償還による収入	9,599	5,300
有形固定資産の取得による支出	△1,792	△852
無形固定資産の取得による支出	△78	△270
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	58
その他	20	1,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,260	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△1,011
配当金の支払額	△831	△873
非支配株主への配当金の支払額	△251	△285
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,085	△2,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	△119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,103	△1,283
現金及び現金同等物の期首残高	10,890	11,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,787	9,981

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の固定資産の譲渡)

当社の連結子会社であるPT Mandom Indonesia Tbkは、前連結会計年度末において「追加情報」として開示しておりました下記の固定資産の譲渡を平成27年6月30日に実行いたしました。

(1) 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	土地建設権 32,880㎡ 建物 30,709㎡ Jl. Yos Sudarso By Pass, P.O. Box 1072, Jakarta 14010 Indonesia
譲渡価額	500,000百万ルピア (46億円 (※) )
現況	本社及び工場

(2) 譲渡先の概要

名称	PT Temas Lestari
所在地	Jl. Tembang No. 51 Tanjung Priok, Jakarta 14310 Indonesia
代表者の氏名	Sutikno Khusumo
事業内容	商業、建設、工業、陸上運送その他
当社グループとの関係	当社グループと当該会社との間には、資本関係、人的関係及び取引関係はありません。また、当社グループの関係者と当該会社の関係者及び関係会社の間には、資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、譲渡に係る諸費用等を控除した固定資産売却益を計上する結果、平成28年3月期第2四半期以降の連結損益計算書において、当期純利益に約41億円 (※) の増加影響が生じる見込みであります。

(※) 1インドネシアルピア=0.0092円 (平成28年3月期の業績予想値の前提となる為替レート) で換算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,273	4,153	3,221	19,648	—	19,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,045	978	17	2,040	△2,040	—
計	13,318	5,131	3,238	21,688	△2,040	19,648
セグメント利益	2,230	362	714	3,306	—	3,306

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,567	5,197	3,329	21,094	—	21,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	950	948	88	1,988	△1,988	—
計	13,518	6,145	3,418	23,082	△1,988	21,094
セグメント利益	2,524	575	737	3,836	—	3,836

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(重要な後発事象)

平成27年7月10日(現地時間)に、当社の連結子会社であるPT Mandom Indonesia Tbkのエアゾール生産ラインにおいて、火災事故が発生いたしました。現時点で当該事象が平成28年3月期の連結損益に与える影響を合理的に見積もることは困難な状況であります。

4. (参考) 個別財務諸表等

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,197	2,197
受取手形及び売掛金	4,863	5,186
有価証券	17,796	18,397
商品及び製品	2,798	3,076
原材料及び貯蔵品	570	661
仕掛品	189	148
その他	1,092	1,269
流動資産合計	30,508	30,937
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,745	6,648
その他(純額)	3,586	3,810
有形固定資産合計	10,331	10,459
無形固定資産	918	1,059
投資その他の資産		
投資有価証券	6,098	6,757
関係会社株式	7,559	7,559
その他	1,701	2,100
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	15,348	16,406
固定資産合計	26,597	27,925
資産合計	57,106	58,862

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	874	1,476
未払法人税等	836	900
賞与引当金	744	384
その他の引当金	287	256
その他	3,002	2,619
流動負債合計	5,745	5,636
固定負債		
退職給付引当金	489	474
その他	1,174	1,391
固定負債合計	1,664	1,866
負債合計	7,409	7,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	27,359	28,576
自己株式	△1,855	△1,855
株主資本合計	48,133	49,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,563	2,008
評価・換算差額等合計	1,563	2,008
純資産合計	49,696	51,359
負債純資産合計	57,106	58,862

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (参考) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	13,078	13,281
売上原価	5,886	5,907
売上総利益	7,192	7,374
販売費及び一般管理費	4,807	4,795
営業利益	2,384	2,578
営業外収益		
受取配当金	428	483
その他	115	30
営業外収益合計	544	513
営業外費用		
関係会社人件費負担金	7	4
為替差損	4	2
売上割引	—	2
その他	4	2
営業外費用合計	16	10
経常利益	2,912	3,081
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	29
特別損失合計	0	29
税引前四半期純利益	2,912	3,052
法人税等	945	922
四半期純利益	1,966	2,129

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。